

グリーンフラッグ 9月の活動

～夏を越えてカワラノギクのみかほ～

9月に入ると運動会の練習が始まりました。子ども達は、生き物や作物を気にかけるどころではなく、15日の本番まで2週間で演技を仕上げねばならず・・・カワラノギクも心配なのですが見に行けない日々が続きました。

そこで、環境担当と校長先生で様子を見に行きました。草丈が伸びた中に何とか生き残っている数株がありました。



～台風が来て・・・～



9月に入って大きな台風がこの神奈川県にも上陸しました。

近年の台風の動きは、一部の地域ではなく、日本を縦断するように各地にその爪痕を残して行きます。そして、この相川小にも被害が出ました。

その1つめは、洪水でほほえみ広場が水没したことです。2年前もそんなことをグリーンフラッグの



記事に書きました。野生の動物や植物は、自然の脅威には逆らえません。カワラノギクの株はめっきりその数を減らし、弱々しく見えました。

2つめは相川の森のヒマラヤスギです。並んでいた1本が根元から倒れたのです。太い枝葉も折れていたのも、倒れた時には大きな音がしたことでしょう。台風が来た時には、何が飛んできて何が落ちてくるか分からないことが恐ろしいのです。この経験を忘れないで欲しいです。

=実がなって=

相川の森にはたくさんの実のなる木があります。今年はいつになくその実がどの木にもたくさんなりました。

その中で特に目を引いたのがアオギリの実です。アオギリの実は葉っぱのような形をしています。その葉に小さな実をつけているのがとても可愛いです。その実を放り投げるとくるくる回って落ちるのがおもしろいです。種を遠くまで飛ばす工夫のようです。



=サツマイモの花? =



サツマイモの様子を見に行くと、花が咲いていました。違う植物が絡んでいるのかと思って、ツルをたぐってみるとサツマイモの花です。

調べて見るとサツマイモの花は、沖縄を除いて通常の条件では開花しない

ようです。栄養生長（芋の肥大）ができない環境下におかれたために生じる現象だそうです。原因としては、「干ばつ気味の時、マルチの使用、施肥が少ない、降水量も少ない。病気、ネズミにかじられている。」などだそうです。次の子孫を残せないと思ったら、花を咲かせ種を作るのでしょうか。これも植物の素晴らしい知恵です。